

福生 FUSSA

市議会だより

第 78 号

63 年 4 月 25 日

発行 福生市議会

東京都福生市本町 5 番地  
電話 0425 (51) 1 5 1 1 (代表)



春の香りが  
福生のまちをつつみます

— 滝山城跡から望む福生 —

# 8,794万5千円

議会で原案どおり  
可決された63年度予算……。  
正しく大切に使われるかどうか  
市民の皆様が目付役です。

三月初旬の別れ冷えのころ、昭和六十三年第一回定例会が招集されました。  
今回の定例会は、三月八日から開かれ、市長の所信表明を受け新年度予算を含む二十五議案が提案され、すべて原案どおり可決し二十四日閉会しました。  
また、一般質問については五人の議員から、市政全般にわたり当面の取り組みについていただきました。  
国や県及び市町村の会計は、年度の始まりが四月、終わりが翌年の三月で、この一年を会計年度と言っています。  
この一年間の予算を市長は毎年三月の議会に提案し、決まった最初の予算を当初予算と言います。当初予算には、その年度に実施しようとする事業等がすべて盛り込まれております。  
なお、当初予算書は中央図書館で見ることができません。

## 264,516千円

土 木  
3,331,311千円  
(25.1%)



- 街路樹剪定委託料  
6,476千円
- 福生駅自由通路改良事業費  
546,930千円
- 熊川地区土地区画整理計画委託料  
13,800千円
- 都市景観事業費  
10,015千円
- 下水道事業会計繰出金  
994,000千円
- 中福生公園新設事業費  
452,846千円
- 熊川緑地新設事業費  
258,180千円

教 育  
2,436,827千円  
(18.4%)



- 演劇鑑賞教室委託料  
3,980千円
- 学校施設維持管理費  
194,799千円
- 修学旅行負担補助金  
8,551千円
- 給食費扶助費  
12,958千円
- 学校整備費  
605,544千円
- 国際交流基金積立金  
101,900千円
- 市民会館主催事業委託料  
8,500千円
- 市民会館管理費  
81,691千円
- 図書館図書等購入費  
21,568千円
- 田園野球場防球ネット設置工事費  
6,200千円
- 体育館管理費  
55,199千円

## 63年度各会計別当初予算

人口 63.1.1現在55,012人

区 分	予 算 額	前年度 比 較	市民1人あ たりの額
一 般 会 計	132億6,451万 6千円	3.8%	241,120円
国民健康保険 特 別 会 計	19億8,158万 7千円	13.1%	36,021円
老人保健医療 特 別 会 計	12億2,080万 1千円	16.1%	22,192円
区画整理事業 会	19万円	△34.7%	4円
下 水 道 事 業 会	22億3,405万 1千円	9.6%	40,610円
小 計	187億114万 5千円	6.2%	339,947円
受託水道事業 会	6億8,680万円	△20.0%	12,484円
計	193億8,794万 5千円	4.9%	352,431円

3 審議日程

- 8日 本会議
- 9日 本会議
- 10日 一般会計予算審
- 15日 査特別委員会
- 16日 厚生委員会
- 17日 建設委員会
- 18日 総務委員会
- 22日 議会運営委員会
- 24日 本会議

第一日目 会期を十七日間とした後、新年度に向けての市長の所信表明演説に続き、三人の議員が一般質問を行いました。

第二日目 前日に引き続き、二人の議員が一般質問を行った後、市長から追加提案された一議案を先議、可決とした後、「陳情書の取り下げ」を承認し、委員会に付託されていた「福生市に非核都市宣言を求める陳情書」の審査報告がなされ、採決の結果、不採択としました。

その後、二十三議案及び陳情五件の審議に入り、それぞれ委員会に付託されました。

なお、「六十三年度一般会計当初予算」は、特別委員会を設置し審査することとしました。

第三日目 各委員会に付託された議案等の審査報告がなされ、それぞれ可決、採択されました。中でも、「六十三年度一般会計当初予算」ほか五議案については、反対、賛成の討論がされ、起立採決の結果、いずれも可決されました。

# 昭和63年度 予算総額 193億

## 一般会計の主な事業 13,

総務  
1,701,811千円  
(12.8%)



- 電算機無停電電源装置設置工事 9,500千円
- 庁舎増築基金積立金 160,352千円
- わたしの便利帳作成委託料 4,750千円
- 市史編さん事業費 25,576千円
- 交通安全推進指導委託料 2,900千円
- 駅周辺自転車整理委託料 6,434千円
- 私立幼稚園児保護者負担軽減補助金 57,876千円
- 幼稚園就園奨励費補助金 21,703千円
- 市長選挙費 10,540千円

民生  
3,130,507千円  
(23.6%)



- 国民健康保険特別会計繰出金 240,000千円
- 身体障害者福祉手当 56,130千円
- 老人施設援護措置費 166,971千円
- 老人福祉手当 41,442千円
- 緊急通報システム事業費 2,317千円
- 老人保健医療特別会計繰出金 70,381千円
- 学童保育委託料 35,386千円
- 児童措置委託料 633,757千円
- 保育園運営費 234,675千円
- 生活保護費 860,357千円

衛生  
738,620千円  
(5.6%)



- 休日、準夜診療事業委託料 10,184千円
- がん検診費 9,302千円
- 予防接種費 20,196千円
- 西多摩衛生組合負担金 174,899千円
- 公衆便所清掃委託料 2,070千円
- 塵芥収集委託料 132,624千円
- 不燃物収集選別処理委託料 68,616千円
- 尿処理委託料 16,620千円

商工、消防、その他  
1,925,440千円  
(14.5%)



- 桜まつり補助金 3,536千円
- 七夕まつり委託料 13,000千円
- 中小企業振興資金貸付預託金 33,000千円
- 消防事務都委託費負担金 468,417千円
- 消火栓管理委託料 10,120千円
- 災害対策事業費 26,490千円
- 公債費 735,288千円

# 特別委員会の審査から

昭和六十三年年度一般会計当初予算は、設置された予算特別委員会（委員長上野重勝議員、副委員長野口秀世議員）に付託され、四日間にわたり慎重な審査が行われました。

この審査の結果、「原案どおり可決」とする報告が、議会最終日に委員長からされ、反対、賛成の討論の後、起立採決の結果、賛成多数をもって可決されました。

以下は、委員会での質疑応答です。

## 国庫支出金の削減

### 今後の状況は

《歳入》

問 今後の国庫支出金の削減の状況がわかれば示していただきたい。また、市長は国庫支出金の削減について、どう考えておられるのか伺いたい。

答 国庫支出金の削減については、六十年度から一部削減が始まり、六十一・六十二・六十三年度までが暫定措置期間となっている。

この期間終了後は、完全に復元することという形で市長会を通じて要求している。また、本市の事情を訴え増額に努めてきた。

問 国庫支出金総額の十七億五千六十三万三千円の、省庁別内訳

はどうなっているのか。

答 厚生省から八億九千四百七十八万七千円、労働省が三千四百九万六千円、文部省が七千四百七十二万五千円、自治省が三百四十八万円、建設省が百二十八万六千円、防衛施設庁が七億四千六百四十五万九千円である。

## 利子割交付金の

### 算出根拠は

問 利子割交付金が七千三百万円計上されているが、この根拠は示されているのか。

答 障害者などの一部を除いて本年四月からマル優制度が廃止され、預金利子については二〇%の源泉分離課税となる。このうちの七五%が国へ、二五%が都道府県

へ利子割額として振り分けられ、これに本市の都民税の徴収決算額の割合をもって交付額が確定する。

## 滞納繰越の

### 増加の理由は

問 法人税の滞納繰越が増加している理由と、都市計画税の条例改正による減税はどのくらいか。

答 滞納繰越件数は五十五社で倒産、あるいは幽霊法人の増加等があり、都市計画税の減税は約三千八百万円見込んでいる。

## 基地交付金で

### 補てんされるものは

問 米国軍人軍属には、軽自動車税、電気税、ガス税が特例で措置されており、この分は基地交付金の中で補てんされているが、これ以外に補てんされているものがあるか。また、軍人軍属に市民税を課税する場合の件数を把握する方法があるかどうか。

答 現時点では、ほかにあるかどうか不明である。市民税関係も合わせて知する方法があるかどうか研究したい。

問 市民税の普通徴収と特別徴収の割合を伺いたい。

答 六十一年度の決算では、普通徴収が九千七百五十人で四二・四%、特別徴収が一万三千二百三十八人で五七・六%である。

問 六十三年度で市民税はどのくらい減税になるのか。また、特別徴収の割合が二十六市の中でも低いという状況は変わっていないのか。

答 減税分は個人分で二億円、法人分が三百万円弱であり、特別徴収の割合は低い方である。



六十三年度予算  
起立多数で可決

### 町会への補助金

減った理由は

《歳出》

問 六十二年度予算の会館運営補助金は、三十五町会に三万五千円の予算計上だったが、六十三年度では二十二町会である。この差について伺いたい。

答 一昨年の陳情後、調査をしたら、会館を持っていない町会や民間の施設を借りている町会、二町会で使っているところがあって、調査後確定したのが二十二町会である。

問 一人暮らしの老人に給食のサービスを実施しているが、これは老人の日々の様子を知るといふ目的がある。この目的からも回数をもっとふやせないか。

答 現在四十三名が申し込まれており、ボランティアの方々を通じて配達を実施している。回数をふやすことについては、これらの方々とも協議し検討したい。

### 商店街関係者の出店

優先の考えは

問 七夕まつりに露店商が出店するのは望ましくない。当市の商

工会、各種団体、組合関係者等といった当市で活躍されている方々を優先にしたらどうか。

答 本件については、企画委員会が検討をしたり各商店街の会員の意見も伺っている。まだ具体的な結論はないが、関係者と相談しつつ方向を考えたい。

### 青梅線以東の

#### 消防団体制は

問 青梅線以東に消防団体制の検討がされているようであるが、具体化するのはいつごろなのか。

答 東京都の長期計画の中で、常備消防体制の検討がされており、市としてもそれに合わせて消防署等と話し合っていきたい。

### 国際交流基金

#### 内容や運用方法は

問 国際交流基金の具体的な内容や運用の方法を伺いたい。

答 今議会に条例の提案をしたが、国際交流を図るための財源確保である。

事業については、青少年の海外派遣あるいは姉妹都市提携が考えられる。今後十分に検討を加えて有効な運用を図りたい。

### 一般質問項目

市民の将来における住環境問題について

#### ○横田基地について

- 1、チームスピリット'88について
- 2、カナダ・イギリス空軍機の飛来訓練について
- 3、正月三が日を含む十二・二月期の離着陸数について

#### ○体育行政について

熊川体育館及び市民体育館の運営について

#### ○情報公開について

- 公開条例と公文書の扱いについて
- 市内在住外国人について

#### 1、指紋押捺について

- 2、外国人に対する生活保護等の考え方について

#### ○総合福祉センターについて

センター建設構想の市民参加について

#### ○老人福祉について

- 1、託老所の設置について
- 2、特別養護老人ホームについて

#### ○都有地の活用について

加美平団地内の都有地開放について

#### ○地域環境について

市民の将来における住環境問題について

#### ○中学校給食問題について

その後の経過について

#### ○片倉工業(株)跡地利用について

総合福祉センター建設を含め、市民参加で民主的に跡地利用計画をつくる考えについて

#### ○基地問題について

- 1、下水、水道、地下水の汲み上げの現状と今後の考えについて
- 2、防音工事後の補修や電気代の補助について

#### ○人口増加対策について

市の将来人口と現在における人口問題について

#### ○建設事業について

年度末における道路の工事について

#### ○商業振興について

当市の商業の活性化対策について

#### ○横田基地について

- 1、軍事演習チームスピリット'88について
- 2、防音対策について

# 一般質問

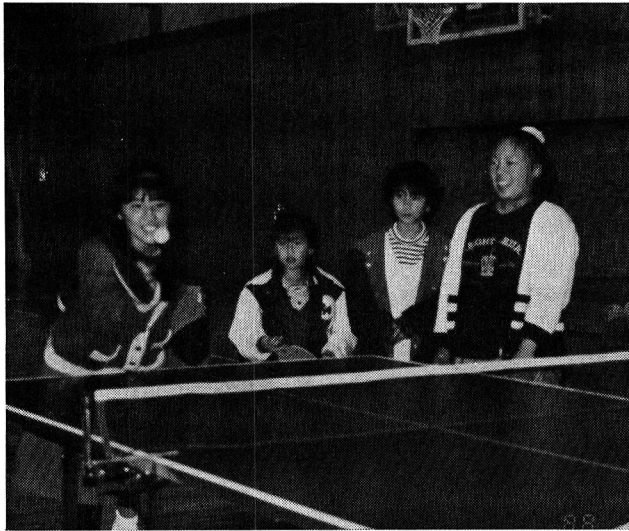


## 体育館の職員配置

### その後の経過は

質問 以前に熊川体育館における職員の対応等について伺った

が、その後はどうか。北田園の市民体育館は登録団体を優先使用させているのか。また、今後市民参加の形の体育館運営市民会議等の設置の考えはあるか。



「よく見ていてよ、私、上手なんだから」熊川体育館で

教育次長 熊川体育館も開館以来四カ月余り経過し、多くの市民に利用されている。現在も職員の配置問題について検討を重ねているが、全体の組織の見直しも今検討されているので、しばらく時間をお貸

し願いたい。

北田園の市民体育館は、個人の申し込みは随時に、団体は一カ月前から申請を受けており、体育協会加盟団体を優先していることはない。今後こうした利用者の声を聞く機会を設けたいと思っている。

### 非常にうるさく 危険な合同演習をどう思う

質問 米韓合同演習は、今回は中止されるのではないかとみられていたが、しかし、例年どおり実施するようである。毎年三月から四月にかけて非常にうるさく、危険でもある。米韓合同演習のチームスピリット'88についてどう考えているのか。

市長 今年も期間を短くして実施する旨、基地司令官より連絡を受けた。私も中止を願っていたが、軍事的、国際的な問題であるので中止要請はしない考えである。

第1回定例会では5人の議員が一般質問を行いました

。期間中の事故防止に万全を期すよう申し入れた。

### 正月三が日の飛行は減少

質問 この一、二年の正月三が日の離着陸数は、土、日が入っていることもあると思うが減ってきており、市長が基地に申し入れた結果だと思ふ。今年の正月三が日を含め、十二月から三カ月間の離着陸数を伺いたい。

市民部長 正月三が日の離着陸数は、一日が二十二回で前日より八回の増、二日が十六回で前より十八回の減、三日が十三回で前より一回の増となっている。次に十二月の離着陸数は、千四百三十六回で前年より八十八回の減、一月が千八百五十五回で前年より五百七十三回の増、三月が千四百九十九回で前年より十八回の減となっている。

市長 今年も期間を短くして実施する旨、基地司令官より連絡を受けた。私も中止を願っていたが、軍事的、国際的な問題であるので中止要請はしない考えである。

### 米軍以外の飛来

どう思うか

**質問** 普段でさえ米空軍機の飛行で市民が迷惑している上に、一月から二月にかけてカナダやイギリスの飛行機が飛来していたが、市長はどう思うか。

**市長** 基地に確認したところ、連絡や給油のために飛来したとのことである。協定上基地を使用することができるとの政府の見解であり、私もそのように理解している。

### 役所の文書管理

時代に即応しているか

**質問** 行政事務の電算化による個人情報保護や開示等について、その後の状況はどうなっているか。また、情報公開で常に問題となる役所の文書管理について伺いたい。

**市長** 目的の文書を検索できるようにしておくことが前提となり、そのための第一段階としての事務に取り組む必要があると思う。

**企画財政部長** 開示の請求及び訂正であるが、条文の具体的手続

等の方法について検討中であり、近々に決定していきたいと思う。

**総務部長** 現行の文書管理規程が三十九年十月に施行され、集中管理方式となったが、規定どおりの管理がされずに扱われているので、今後抜本的整備について内部調整をしていきたい。

文書の公開については、例えば議員から要求があった場合、法的には拘束力はないが、協力する形で公開することになると思う。

### 外国人就労者に

優しい保護の手を

**質問** 事務報告書によると、当市の外国人は八百十六名となっているが、最近「ジャパゆきさん」と呼称されて日本で労働している例が多く、これら外国人の病気等による緊急の生活保護の措置について伺いたい。

**市長** 生活保護法では外国人は対象外であるが、外国人登録法によって登録した方が生活に困窮している場合は、人道上から法に準じた保護をしている。

また、未登録の外国人はとりあえず保護も考えられるが、その点

各関係機関と十分連絡をとって対応していきたい。

### 積極的に

市民の声を反映させよ

**質問** 将来に悔いのない立派な総合福祉センターを建設する上か

ら、ぜひ政党党派を超えた、市民参加の諮問機関を設置し、市民の声が直接反映するようにすべきだと思うがどうか。

**市長** 六十二年度と六十三年度で片倉工業跡地を買収するが、市民参加については、今後、調査研究を進める中で考えていきたい。

## 九百平方メートルの跡地

### 開放できないか

**質問** 加美平団地内の旧汚水処理施設跡地約九百平方メートル

を、住宅供給公社が管理しているが、この跡地を市が確保し、地域住民に公共施設として開放する考えはあるか。

**市長** 以前から交渉をしてきているが、「一団地経営」という都市計画上の特殊事業として建設したものである。公社としても用地取得が困難であるので、基本的には有効利用を図るため、住宅を建設する方針のようである。現在もその方針には変わりないようだが、今後、働きかけはしていきたい。



### 託老所の設置を

どう考えるか

質問 当市も例外なく高齢者がふえつつあり、痴呆性老人対策が重要視されている。家族のご苦労を考えると、託老所を早急に設置すべきだと思うがどうか。

市長 そうした施設は、その特殊性や専門的技術職員等の必要の問題があるので、昨年開設された特別養護老人ホームや検討中の総合福祉センターの利用が考えられる。

### 違法建築には

強い態度で要請を

質問 最近ではワンルームマンションや建て売り住宅等の建設が盛んであり、また、違法建築による近隣住民の迷惑はもとより、市の将来計画にも悪影響を及ぼすものと思われる。こうした違法建築を指導監督する都に対して、強く要請すべきと思うがどうか。

市長 違法建築について市民からの訴えもきているが、都にもその適切な指導方を申し入れていく。

また、市でも宅地開発等指導要綱による指導をし、住環境保護に努めている。

### 開設された老人ホーム

運営は問題ないか

質問 昨年十一月に特別養護老人ホームが開設されたが、しかしいろいろと運営面で問題を耳にし

ている。老人福祉法によって都が指導監督するということはわかるが、市民が入所していることでもあり、市の見解を聞きたい。

市長 市内の方は十三名入所されているが、施設や運営面の改善等は都でやることになる。しかし問題があれば市でもその内容把握に努め、助言や要望をし協力を求めている。

## 意見書

### 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書

政府においては、財政再建の名のもとに義務教育に対する国庫負担の削減を一層推進するため、公立小中学校の事務職員や栄養職員等の国庫負担廃止を志向しているとも伝えられている。

義務教育費国庫負担法でも、必要な経費を国が負担する旨明記されていることは御承知のとおりである。これらを国庫負担制度の対象から除外することは、学校運営における一体性を損なうばかりでなく、より一層地方自治体への財政負担を強いることになるものである。

よって、政府におかれては現行の義務教育費国庫負担制度を堅持するよう強く要望する。

(この意見書は、内閣総理大臣、大蔵大臣、文部大臣、自治大臣に送付しました。)

### 中学校給食

その後の様子は

質問 前回の定例会で取り上げた中学校の給食問題の教育委員会におけるその後の動きについて伺いたい。

教育次長 教育委員会としてもこの問題について協議を重ねてきたが、過去の経過も踏まえ諮問機関を設けることで一致し、今後具体的に検討していきたい。

### 片倉工業跡地の利用

今後の取り組みは

質問 約一六、五〇〇平方メートルある片倉工業跡地利用については、多くの市民が関心を持っているが、総合福祉センター用地にするとしても、全体の利用計画の中で位置づける必要もあり、今後の取り組みと、広く市民の参加を得る方法について伺いたい。

市長 今後これだけまとまった用地確保はできない貴重な土地と考えており、総合福祉センターを含め、今後の利用については十分調査研究をし、市民参加の点についても検討していきたい。



<賛成>

本会議場における討論の概要

<反対>

福生市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

★本案は、被保険者の負担を最少に抑えた改正で給付費は、前年比13.4%の増が予想され、この改正をもってしても一般会計から2億4千万円もの繰り入れが必要となる。歳入歳出のバランスを図りつつ健全な運営に努めなければならないが、本案は妥当である。

★本案は、国保税を前年比4.9%値上げするもので3年連続の値上げとなる。この原因は、老健法等を創設したため、政府は市への国庫負担金を40.5%から38.5%へと引き下げた。この引き下げによる負担が、被保険者に強いられている。

昭和62年度福生市一般会計補正予算（第6号）

★今回の補正は、市税や特別交付税の確定によるものと、今後の財政需要のための基金積み立てが主で、年度中に、この財源を事業に充当しても会計年度独立の原則から執行には問題がある。

★本補正は、年度末の精算の性格を持つが、特別交付税の1億円は、年度末まで予算計上せず、多額の財源留保を行い、役立てることが困難な時期に計上するなど、市民の立場から納得できるものではない。

昭和63年度福生市一般会計予算

★国の予算は4.8%の伸びで、当市の市税の伸びは7.2%である。予算額の54.4%が依存財源であって、こうした状況の中で、基地交付金、特別交付金の組み方に改善が加えられ、実施計画に基づく事業の実施など健全予算である。

★円高差益による負担軽減がある中で、3年連続の保育料や国保税の値上げを初め、義務教育費の負担増を求めている。この財源を充当すれば、父母負担の解消が可能となる。国に何ら補助金の復元を求めることなく、政府の言いなりの予算である。

★非常に財政状況の厳しい中で、中福生公園の築造や、現施策を実施しながら、経常的経費の節減に努めている。また、将来へのそなえとして国際交流基金の積み立てなど、長期的視点に立った準備がされるなど、何一つ問題がない。

★21億円が基地関連の歳入で、基地に依存している。平和事業を見ても平和への問題を考えることが希薄で、騒音測定に關しての機器の増設や、無認可保育室の補助に対し、全く必要としない考え方は、疑問を持たざるを得ない。

昭和63年度福生市国民健康保険特別会計予算

★国保事業は、この数年、高齢化による医療費の増額が激しく、厳しい状況下にある。本財源健全化のため医療費に合った税の確保は当然であり、適正な賦課と医療給付の適正化を基本とした、本予算は妥当なものである。

★歳入の主なもの、保険税と国庫負担金、都補助金、そして繰入金である。本案と61年度決算を比較すると、保険税で6.8%増、国庫負担金で4.9%減、都補助金で1.8%増、繰入金は2.2%減で、国庫負担金の削減から、保険税を4.9%も値上げせざるを得ない。

昭和63年度福生市老人保健医療特別会計

★高齢化社会の到来により、医療費は年を追って増加し、本予算も前年比約1億7千万円の増となっている。適切な受益者負担が、老健法の示す姿であり、本案の負担額は無理のない範囲と認める。

★本会計は、58年2月に老健法が施行されてきたもので、医療費を有料にし、昨年1月には、大幅な値上げを実施するなど、お年寄りや家族の負担を大きくするものである。

昭和63年度福生市下水道事業会計予算

★美しい住みよいまちづくりは、雨水排水施設の充実が必要で、特に下の川は当市にとって重要な排水路で、早期改修が望まれている。

★本事業も、供用開始されて10年、種々の問題が生じている。特に基地の使用料の算定は疑問があって、改善すれば使用料の増収を得られるが、市はこれを拒み改善をしない。

また、基地の下水道使用料についても条例に基づき適用されているもので何ら問題がない。

★下の川改修事業は、十分な話し合いがないまま実施されるもので、事業の内容も緑の保全の配慮に欠け、道路整備等の必要性が不明確である。また、事業費の80%が防衛補助金である。

福生市に非核都市宣言を求める陳情書

★INF全廃条約が大国間で調印され、世界は徐々に平和に向けて歩み始めた。この時期に、当市が非核都市宣言をすることは非常に意義深いものと理解するので、採択すべきである。

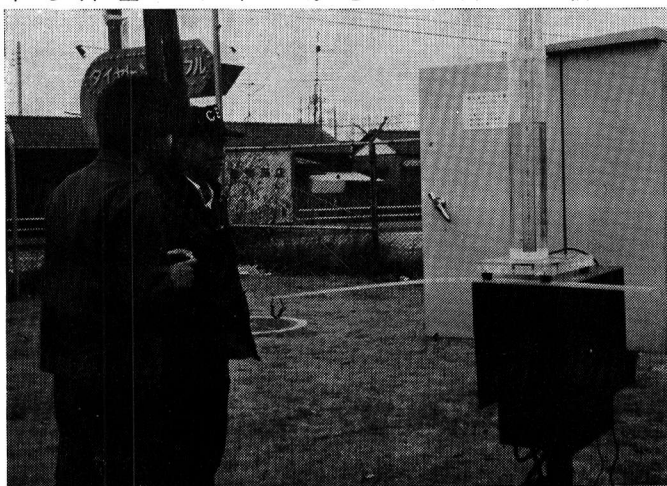
# 基地の給排水

## 使用状況は

**質問** 過去において基地への水道給水や下水道の排水問題があり、市で対応したことがあるが、その後の使用状況等について伺いたい。

**市長** 当

時の東京防衛施設局と市で協定を結び、議会にも承認をいただいた上で事務を進めた。水道は当市と武蔵村山市の二カ所から給水し、その外は基地内の深井戸を併用している。下水道は二カ所の排水口に流量計を設け住宅分と事業所分とに区分し、市民と同様に条例によって使



基地排水流量の検査

用料を徴収している。最近における下水の使用水量の増加は、基地内の人口増加とあわせ、以前から市でも要請していた

老朽化した管等の改善に基地側が取り組んだためと思われる。

**建設部長**

下水道の使用について五十三年に協定を結んだ。使用水量は五十七年が八十四万七千トン、五十八年が八十二万四千トン、五十九年が八十三万五千トン、六十年が九十六万九千トン、六十年が百十五万七千トンとなっております。

り、過去八回程度の立ち入り調査を実施した。

水道の給水量は、五十七年が一万四千四百トン、五十八年が一万五千トン、五十九年が一万七千七百トン、六十年が二万八千三百トン、六十一年が三万六千三百トンとなっている。

**市民部長** 地下水汲み上げは、都区内においては都条例で規制の行政指導がされているが、基地内は法規の及ばないのが原則となっているので、都では防衛施設庁を通じて要請しているようである。

### 防音工事後の

#### 補修にも補助金を

**質問** 民間の住宅防音工事も進んでいるが、しかし古くなった機械の修理や取り替えとか、電気代の負担増加等の問題が起きており、市としての取り組みについて伺いたい。

**市長** 従来からその実現に向けて、国に要請運動を進めてきたが、空調機能の復旧とか電気料の補助について、検討課題と考えているようであるので、さらに要請をしていきたい。

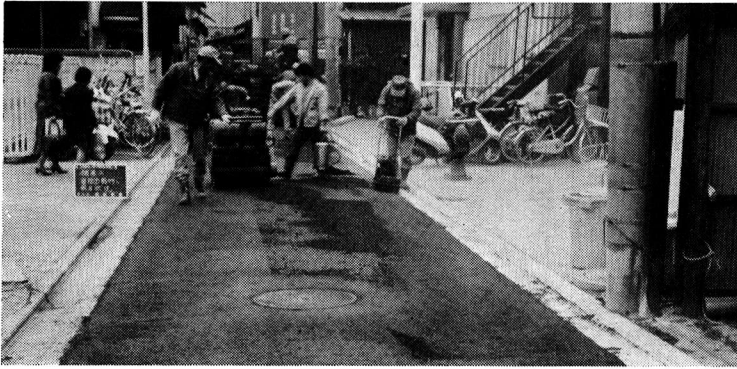
## 議会日誌

1月	13日	都市下水路組合臨時議会
	19日	議会運営委員会 都市収益事業組合臨時議会
2月	21日	議会報編集会議
	22日	第一回臨時議会 総務委員会
	2日	全国市議会議長会基地協 議会正副会長・監事・相 談役会議及び総会（3日 まで）
	9日	第二十六回東京都市議 議員研修会
	13日	東京都市議会議長会二月 定例総会
	16日	三多摩上下水及び道路建 設促進協議会第二委員会
	18日	全国市議会議長会基地協 議会 三多摩地区消防運営協 議会第二部会
	19日	三多摩上下水及び道路建 設促進協議会第一委員会 三多摩上下水及び道路建 設促進協議会第三委員会
	24日	都市下水路組合議会

# 考えてほしい

## 年度末の道路工事

質問 毎年のように十二月から三月の年度末にかけて、下水道等の工事が行われ、市民生活に支障



「もう渡って  
いいかしら」

を来しているが、こうした工事についてどう考えているか。

市長 道路は生活をする上で欠くことのできない公共施設であるが、路面下の上下水道やガス工事等が非常に多くなってくる。当初道路工事の調整会議も開き、効率的工事に努めているが、比較的補助事業が多いために年度後半になってしまいうわけだが、極力年度内に適正配分され、計画的に執行できよう関係者と連絡調整していきたい。

### 人口増加対策

#### 将来への考えは

質問 当市も基地中心の商業都市から、首都圏域の住宅都市へと発展しつつあるが、今後は都市施設整備をし、将来への人口増加対策として考えるべきだと思いがどうか。

市長 人口の計画数と実数との差が生じているので、基本計画を

修正し六十五年度の人口を五万六千人と推計している。

企画財政部長 基地の部分を除いた人口密度からすると、一平方キロ当たり約七千二百人となっているが、最近における住宅の高層化等により、推計が難しい時期である。今後第二期総合計画策定の中で、よりよいまちづくりのために協議していきたい。

### 商業の変遷

#### 活性化を急げ

質問 当市の商業における販売額等は、五十年代後半から漸減傾向にある。

また、コンビニエンスストア等の進出で商業の形態も変わりつつあるが、今後の商業の活性化について伺いたい。

市長 六十年代における商業統計調査でも停滞しているとの結果が出たが、この背景には種々の要因もあると思われる、これらの分析をすることともに、市、商工会、商業者の三者が一体となって、活性化に向けて対応していかなければならないと思っている。

## 議員表彰

東京都市議会議長会では、議員として永年地方自治に功績のあった方を表彰しており、昭和63年2月9日に前議員高水惣八氏(熊川343)が表彰を受けられました。

日	内容
3月1日	全国市議会議長会基地協議会関東地区役員会
2月1日	都市収益事業組合議会
2月2日	狭山火葬場組合議会
2月2日	西多摩衛生組合議会
3月3日	議会運営委員会
2月8日	福生伝染病院組合議会
2月8日	三多摩地域廃棄物広域処分組合議会
2月8日	第一回定例会(一日目)
2月9日	第一回定例会(二日目)
2月10日	一般会計予算審査特別委員会(15日まで)
2月16日	厚生委員会
2月17日	建設委員会
2月18日	総務委員会
2月22日	議会運営委員会
2月24日	第一回定例会(三日目)

# 騒音の測定数値

## 市民に公表を

**質問** 現在の騒音測定機は、福東地区に一カ所しか設置していないが、今後はこれを増設して、騒音値を市民に公表する考えがあるか。

**市長** 国への要請活動資料とし

て飛行機騒音の測定をしているわけ、そのための位置として滑走路南端のリサイクルセンター内に設置した。国や都との折衝には効果も大きく、現在の形が適当と考えている。

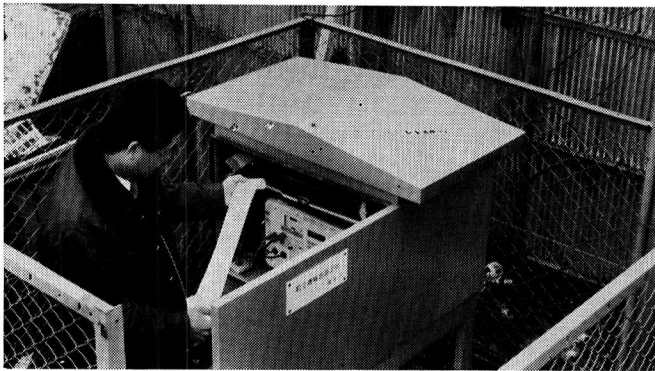
**市民部長** 騒音数値の公表については、騒音測定としての内容等を考え、現行のままで進めていきたい。

### 横田基地

#### 軍事演習に大きな役割

**質問** 米韓合同軍事演習の中止を強く望んでいたが、今年もチームスピリット'88として三月下旬から行われることが明らかになった。横田基地もその大きな役割を担っており、この演習の中止要請をする考えについて伺いたい。

**市長** この合同演習は軍事的、国際的な問題であり、中止要請をする考えはないが、期間中の離発着も多くなると予想されるので、特に事故防止につき、万全を期すよう司令官に申し入れた。



四六時中測定される  
飛行機騒音

## 陳情・請願

### 採 択

○陳情第六十二—十九号 「義務教育費国庫負担法」の改正に反対する陳情書  
青梅市河辺五—二四

酢谷 寿美治氏

—昭62・11・30提出—

### 不 採 択

○陳情第六十二—二十三号 福生市に非核都市宣言を求める陳情書  
福生二、二五四 宮寺荘C—3

成田 栄氏

—昭62・12・14提出—

### 継 続

○陳情第六十三—一号 「ひまわり作業所」に対する補助金交付に関する陳情書  
熊川九五—三四七

山崎 正三氏

—昭63・2・22提出—

○陳情第六十三—二号 保健、医療、福祉の拡充に関する陳情書  
杉並区成田東四—一三—一六

加藤 毅氏

—昭63・2・24提出—

○陳情第六十三—三号 国保負担を減らし、自治体と被保険者負担

増をもたらす国民健康保険法の改悪に反対する陳情書  
福生一、一四二—一六

沢本 早苗氏

—昭63・3・7提出—

○陳情第六十三—四号 名称・形式を問わず大型間接税の導入に反対する陳情書  
福生二、三五六—一五

今村 昭六氏他千百九十五人

—昭63・3・7提出—

○陳情第六十三—五号 入院ベッドの確保に関する陳情書  
熊川五三一—一一

岩本 寅次氏他六百十四人

—昭63・3・7提出—

○陳情第六十三—六号 「非核・平和福生市宣言」制定に関する陳情書  
福生一、一四二—一六

沢本 早苗氏

—昭63・3・12提出—

### 取り下げ

○陳情第六十二—二十二号 病床規制に反対、保健・医療・福祉の総合的な医療計画策定についての陳情書  
熊川七三八

西村 秀吉氏

—昭62・12・9提出—